

学生の進路選択及び心身の健康等に係わる支援

<看護学部>

カリキュラムを支える充実のサポート体制

1. 資格取得への支援

国家試験の100%合格を目指して、「国家試験対策室」を設置するほか、集中講義、模擬試験など万全の体制で試験をサポートします。

また、「看護師+α」のスキルを身につける「強化プログラム」制度（3年次選択）を用意するほか、「保健師」「養護教諭一種」の資格取得も目指せるコース（2年次選択）も用意しています。

2. 基礎ゼミナール

1年次前期に開講される「基礎ゼミナール」では、これから大学で勉強していく上で必要となる基礎的な技能や、知的探求心を鍛錬することを目的にしています。また、少人数教育による教員との直接対話を通じて学習意欲を啓発するとともに、学生同士の親睦と連帯意識を育成します。

3. 学習・生活をサポートする「アドバイザー制度」

学生が有意義で充実した学生生活を送れるよう、専任教員による「アドバイザー制度」を実施しています。学習・進路面はもちろん学生生活の相談など、4年間を通じて手厚い支援を受けることができます。学生は、アドバイザー教員が示したオフィスアワーを利用して気軽に相談をすることができます。

4. 学生相談

大学生活で困ったこと、友人関係などで問題が生じた際には、学生相談担当の教員が相談に対応しています。また、ハラスメント問題専用の窓口を設け、対応できるようにしています。

5. 健康管理

年に1回健康診断を実施し、学生の健康チェックを行うとともに、病院実習に備えて、入学時に感染症抗体検査を実施し、抗体価が基準に満たない場合は、予防接種の指導を行っています。さらに、学校保険として日本看護学校協議会共済会の総合保障制度に全員が加入し、実習先や学校管理下（登下校を含む）での傷害事故、賠償事故および臨地実習での

感染事故にも対応できるようにしています。これらを通して、医療に関わる専門職として主体的に自身の健康管理ができることを目指しています。また、保健室では、学生が健康を維持・増進できるように必要な知識を提供し、定期健康診断を実施して病気の早期発見、早期治療ができるようにしています。

6. 1年次から「キャリアデザイン」に取り組み、看護職としての自己実現に向けて意識を高める支援

本学では、入学間もない1年次前期より「医療キャリアの基礎」として単位化されたキャリアデザイン科目があります。ここでキャリア形成の在り方と医療専門職業人としてのマナーについて学ぶほか、具体的な実践看護の活動を通じて主体的に自身のキャリア設計をしていきます。また、「キャリアデザイン支援・資料室」を設置し、看護管理職を経験した専任職員が常駐するなど、きめ細やかなフォロー体制を整備しています。

7. 地域に根ざした大学

本学は、大府市と地域連携に関する協定を締結しており、市と市民、地域、大学、事業者などと一体になって看護の立場から「協働」によるまちづくりを実施しようとしています。大学には、学生ボランティアなどを積極的に行える窓口として、「**地域協働センター**」を設置し、地域住民の健康増進について体験的に学ぶことを目指しています。